しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことがありません。
わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会　ニュースレター

第 156 号（2023 年 1 月号）

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
http://izumichurch.holy.jp/
発行人　宮地　宏一

2023 年もどうぞよろしくお願いいたします！ 新年に入ってすぐに 43 歳になります。けれど私の意識年齢は、10 代後半から 20 代半ばぐらい。まだまだ若いつもりでいます。時々、私と同い年ぐらいの人がテレビに写っていると、“結構なおじさんだな～”と思うことがあるのです。ところが、いざ自分の顔を鏡で見ると、そこに写っているのも結構なおじさんで、ビックリします。このように外見が衰えていくのは仕方ないとして、内面をもっと若々しく、柔軟で素直な心になれたらと願っています。でも私のかっちこちの肩と同じように、私の凝り固まった心をほぐすのは、相当大変そうです。。。笑

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。　(2023.01.01)

前向きに生きる秘訣とは、、

年末に家族全員で歯医者さんに定期検診に行ってきました。子どもたちは 3 ヶ月に一度、私たちは半年に一度受けているのです。歯に付着した茶渋をしっかり取っていただき、スッキリした気持ちで新年を迎えることができました。子どもたちは歯医者さんが大好き。私が子どもの頃に感じていたような恐怖心は全くなく、検診の後にいただくプレゼントを毎回、楽しみにしています。

実は今回の検診で、何と次男に大きな虫歯が見つかったのです。一番ショックを受けたのは彼ではなく、先生の方でした。歯医者さんが患者の虫歯にショックを受けるなんて、初めての経験で強く印象に残りました。と同時に、改めて歯医者さんは虫歯を治療するよりも、虫歯を事前に防ぐことが本来の使命なのだと教えられたのです。このことを知ってから、私は歯磨きに磨きがかかり、先生に少しでもショックを与えないようにしようと心に誓ったことです。

さて私たちにも、それぞれ使命が与えられています。全く使命が与えられていない人はいないのです。

生まれたての赤ちゃんは、ほとんど何もできませんが、存在しているだけで私たちを癒やしてくれます。「そこにいる」が彼らの使命。これは成長しても変わることのない、すべての人の使命なのです。お一人お一人が今 置かれている場所に存在することが周りの人の励ましとなります。それとともに私たちには、様々な異なった賜物が与えられているのです。それらを用いて、自分に託された使命を果たしていくことが、私たちに委ねられています。

元日本銀行総裁の速水優さんは熱心なクリスチャンでした。終戦の年の 12 月に洗礼を受けてから、日曜日には教会で礼拝をささげ、一週間の力を得ておられました。そんな速水さんがキリスト教学校教育同盟の第 48 回事務職員夏期学校の中で、次のように語られたのです。

･･･私は大学を出て五十七年、日銀に三十四年おりましていろいろ外国関係の仕事をし、それから理事を三年あまりやって、民間の企業に出て十年間、総合商社の経営をやりました。･･･

その後、経済同友会の代表幹事となって財界活動をやらせてもらいました。そういうことをやって終わったかと思いました時、日銀の総裁として戻ってくるように指示を受けました。大変難しい時代で、自分でやれるかどうか迷ったのですが、いろいろ考えて、神の召し、Calling、神が呼んでおられるのだと信じて受けました。

私は仕事を与えられたとき、これが神のCalling なのだと、神は自分を用いて仕事をなさろうとして力を与えてくださるのだということを信じて、総裁時代も、国会に出て難しいことを聞かれても、自分がこうだと思ったことを、Yes か、No かをはっきり言うように努力しました。そのとき「恐れるな、わたしはあなたと共におる」（イザヤ四三・五　口語訳）というみ言葉に励まされました。私は「主共にいます」「主われを愛す」「主すべてを知りたもう」という三つのことを心の中に入れて出て行けば、人を恐れないで、相手の顔を見て言うことができることを何回も体験しました。

【キリスト教学校教育同盟」ホームページより】

速水さんは、自分が土の器のようにもろい存在であることを知っていました。ですから彼は「主　共にいます」「主　われを愛す」「主　すべてを知りたもう」という三つのことを常に心にとめて、非常に大きな働きをされたのです。速水さんは国会での答弁の前に「主　われを愛す」という賛美歌をよく口ずさんでおられたそうです。そうすることで彼の心から恐れが消え、主から確かな力をいただき、難しい局面を乗り越えることができたのです。

同じように主なる神様は、いつも私たちと一緒にいてくださいます。私たちが孤独だと感じ、悩んでいるときにも、神様は私たちの傍らにおられるのです。

また主なる神様は私たちを愛してくださっています。愛が冷え切っているこの世にあっても、主なる神様の私たちへの愛は全く変わらないのです。さらに主なる神様は、私たちのすべてをご存じです。私たちのうちにある傷みも、どうすることもできない悪も、神様の前に明らかなのです。そんな私たちを神様は見捨てず、癒やしてくださいます。

このように主がともにおられ、主が愛してくださり、主がすべてを知っておられることを私たちが知るとき、それを実感するとき、私たちは自分の能力で、自分の使命を果たそうとする思いを手放すことができるのです。その上で、主が与えてくださる力によって一つひとつのことを成し遂げていくなら、私たちは自分の使命を喜び、前向きに積極的に生きられることでしょう。

それでも長い人生、悩んだり、迷ったりすることが多々あります。そんな時はいつも「あ～主なる神様が一緒だから大丈夫！主がすべてのことをご存じだから最善を成してくださる！主の愛は絶対だから、恐れない！」と心の中で、また口に出して叫んで、イエス様の愛の中にとどまれたら幸いです。このように主に信頼する人生は、決して失望に終わることがありません。

2023 年がスタートしました。今年も主がお一人お一人に与えてくださった使命を、主の助けと力によって、そして主とともに果たしていきましょう。

主があなたとともにおられる。
主はあなたを見放さず、
あなたを見捨てない。
恐れてはならない。

- 礼　　拝　毎週日曜日 10：30～12：00
- 祈 祷 会　毎週金曜日 10：30～12：00
- イズミン・キッズ　毎週日曜日 9：30～10：20
- おやこ de えほん　毎週水曜日 10：30～13：30
- 韓 国 語 教 室　毎週火曜日 10：30～11：30
- Friendly English（子ども英会話教室）　毎週火曜日 16：00～18：10